

INON

イノン L 型光 D スレーブ ケーブル II

イノン製品のお買い上げ有難う御座います。

イノン L 型光 D スレーブ ケーブル II は、マスターストロボとスレーブストロボとの信号伝達に光ファイバーを用いる事で、従来のワイヤレススレーブストロボの様に環境光の影響を受けず、より確実な“光 D スレーブ ケーブル” 接続を実現する接続オプションです。

マスターストロボのフォーカスライトに連動した形で、スレーブストロボでのフォーカスライト/フォーカス LED/ターゲットレーザーを使用する事は出来ません。

- 製品内訳
- | | |
|----------------------------|-----|
| ・ L 型光 D ケーブル LL ① | × 1 |
| ・ スレーブ D ホルダーユニット 2 ② | × 1 |
| スレーブ D ホルダー-固定ダ イアル ②-a | |
| スレーブ D ホルダー-固定棒 ②-b | |
| スレーブ D ホルダー-固定棒キャップ ネジ ②-c | |
| スレーブ D ホルダー-位置決めピン ②-d | |
| 光 D ケーブル固定ダ イアル ②-e | |
| ・ 予備 O リング ③ | × 1 |
| ・ 六角レンチ ④ | × 1 |
| ・ 使用説明書(本書) | × 1 |

- 対応マスターストロボ
- (2018 年 11 月現在)
- ・ イノン Z-240
 - ・ イノン D-2000、D-2000S、D-2000W/Wn
 - ・ イノン D-180、D-180S
 - ・ イノン Z-220、Z-220F、Z-220S

- 対応スレーブストロボ
- (※1)
- (2018 年 11 月現在)
- L 型光 D ケーブル LL をそのまま、取付け可能な機種(ワイヤレス “対応、ストロボ”)**
- イノン Z-330、D-200、S-2000、Z-240 【Type4】、D-2000 【Type4】

L 型光 D ケーブルのセンサープラグを、「センサープラグ・ワイヤレス非対応」(別売)へ交換する必要がある機種(ワイヤレス “非対応、ストロボ”) (※)

- ・ イノン Z-240 【Type3/Type2/Type1】、D-2000 【Type3/Type2/Type1】
D-2000W、D-2000Wn、D-2000S、D-180、D-180S、Z-220F、Z-220、Z-220S
- ・ イノン TTL 調光センサー Z + イノン Z-22
- ・ イノン TTL 調光センサー SB + 対応する TTL オートストロボ
- ・ イノン TTL 調光センサー YS + 対応する TTL オートストロボ
- ・ イノン フォーカスライトコントローラー + イノン Z-220F/Z-220S/Z-220/Z-22



**「センサープラグ・ワイヤレス非対応」
【別売】**

(※) 交換方法に付いては、「センサープラグ・ワイヤレス非対応」付属の「ストロボ側 L 型コネクタ仕様変更手順書」をご参照の上、センサープラグの交換を行ってからご使用下さい。

- *1 本製品は、対応マスターストロボ本体だけでなく、下記製品(別売オプション)、或いは「Z-240」の下記付属品を取り付けた対応マスターストロボへも取り付ける事が出来ます。

【別売オプション】

- ・ 「外部オート対応・-0.5 白拡散板」、「外部オート対応・-0.5 白拡散板 2」
- ・ 「外部オート対応・-0.5 青拡散板」、「外部オート対応・-0.5 青拡散板 2」
- ・ 「外部オート対応・-1.5 白拡散板」、「外部オート対応・-1.5 白拡散板 2」
- ・ 「外部オート対応・-1.5 青拡散板」、「外部オート対応・-1.5 青拡散板 2」
- ・ 「外部オート非対応・-0.5 白拡散板」、「外部オート非対応・-0.5 白拡散板 2」
- ・ 「外部オート非対応・-0.5 青拡散板」、「外部オート非対応・-0.5 青拡散板 2」
- ・ 「外部オート非対応・-1.5 白拡散板」、「外部オート非対応・-1.5 白拡散板 2」
- ・ 「外部オート非対応・-1.5 青拡散板」、「外部オート非対応・-1.5 青拡散板 2」
- ・ 「外部オート非対応・-3 白拡散板」

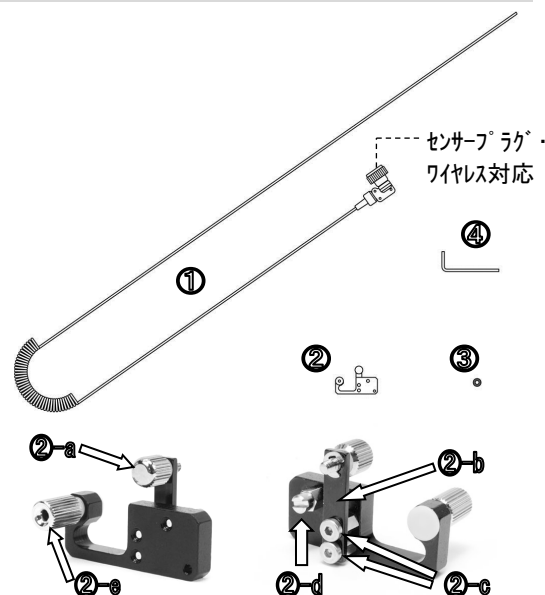
【「Z-240」(2009 年 7 月 28 日(火)以前弊社出荷分)付属品】

- ・ 「-0.5 拡散板」 (「外部オート非対応・-0.5 白拡散板」同等品)
- ・ 「-1.5 拡散板」 (「外部オート非対応・-1.5 白拡散板」同等品)

【「Z-240」(2009 年 7 月 29 日(水)以降弊社出荷分)付属品】

- ・ 「-0.5 拡散板 2」 (「外部オート非対応・-0.5 白拡散板 2」同等品)

- *2 TTL モードでの動作(TTL スレーブ)に対応するマスターストロボは「Z-220」/「Z-220F」/「Z-220S」のみとなります。また、「Z-22」をスレーブストロボとして使用する場合、別途「TTL 調光センサー Z」、あるいは「フォーカスライトコントローラー」が必要となります。



Z-240【Type4/Type3】/D-2000【Type4/Type3】がマスターストロボの場合には、必ず本製品「L 型光 D スレーブ ケーブルⅡ」を用いてスレーブストロボとの接続を行って下さい。旧製品の「L 型光 D スレーブ ケーブル」/「光 D スレーブ ケーブル」を使用する事は出来ません（スレーブストロボのフラッシュ動作に不具合が生じます）。十分ご留意下さい。

なお、「L 型光 D スレーブ ケーブル」と「L 型光 D スレーブ ケーブルⅡ」、或いは「光 D スレーブ ケーブル」と「L 型光 D スレーブ ケーブルⅡ」とは、弊社に『「L 型光 D スレーブ ケーブル」⇄「L 型光 D スレーブ ケーブルⅡ」交換改造』（無償）、或いは『「光 D スレーブ ケーブル」⇄「L 型光 D スレーブ ケーブルⅡ」交換改造』（有償）をご依頼頂く事で相互に仕様変更が可能です。当改造の詳細につきましては、本説明書末の連絡先までお問合せ下さい。

マスターストロボとスレーブストロボが異なる機種の場合、各ストロボともマニュアル発光に設定した場合を除き、撮影意図と異なる発光量バランスとなる場合があります【例：左右とも同じ光量で『平坦に』ライティングしたい場合でも、左右の発光量が異なってしまう等】。

これは、各ストロボで閃光（フラッシュ）動作の仕様[最大発光量/発光時間/単位時間当りの発光強度等]が異なることや、各自動調光方式のスレーブ増灯時の動作に起因した現象で、各製品仕様上正しい動作となります。

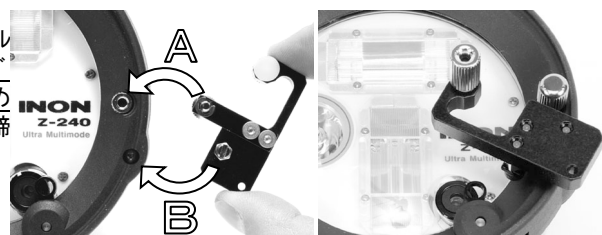
発光量バランスを調節する為には、『各ストロボ側にて適切な発光量補正を行なう』、『適切な“拡散板”の取り付けを行なう』、あるいは『（本製品を使用せず）2 灯ともカメラシステムに直接接続する』等が必要となる場合があります。各ストロボ同士の組み合わせにおける推奨接続/設定例につきましては、各ストロボ付属の使用説明書をご確認下さい。

接続方法

スレーブ D 光ケーブルユニット 2 を装着します

マスターストロボに直接取り付けられる場合

右図の通り、“スレーブ D 光ケーブル固定ダイヤル”と“スレーブ D 光ケーブル位置決めピン”を、対応するマスターストロボの向かって左、フォーカスライト/LED 側のネジ穴[A]/決め穴[B]に合わせ、“スレーブ D 光ケーブル固定ダイヤル”を締め付けて固定します。

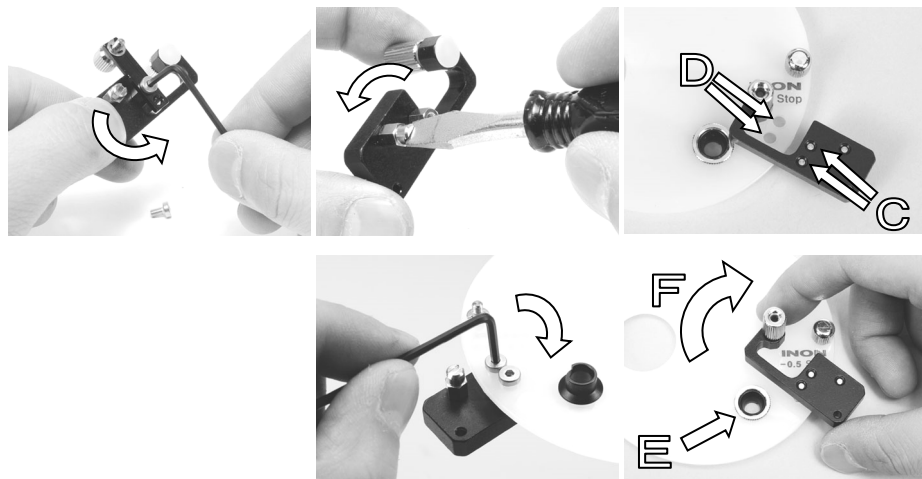


対応する“拡散板”に取り付ける場合

付属の六角レンチを用いて“スレーブ D 光ケーブル固定棒キャップネジ”を緩め、“スレーブ D 光ケーブル固定棒”を取り外した後、マイクドライバーを用いて“スレーブ D 光ケーブル位置決めピン”を取り外します。

その後、ネジ穴[C]と拡散板の穴[D]を合わせ、取り外した“スレーブ D 光ケーブル固定棒キャップネジ”を用いて“拡散板”裏側よりネジ止めします。強く締め過ぎると、“拡散板”が破損しますので、ご注意ください。

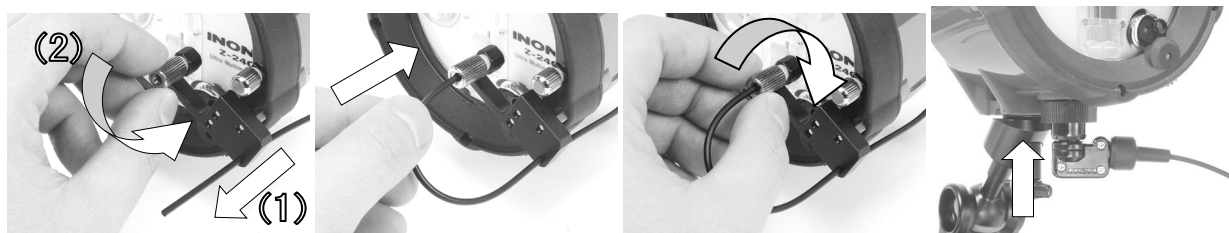
また、「外部オート【対応】拡散板」に取り付けを行う際には、「外部オート【対応】拡散板」にある、ストロボの“調光センサー”に被さる部分[E]を隠さない様、“スレーブ D 光ケーブルユニット 2”を軽く右回転[F]させた状態でネジ止めを行って下さい。



L 型光 D ケーブル LL を取り付けます

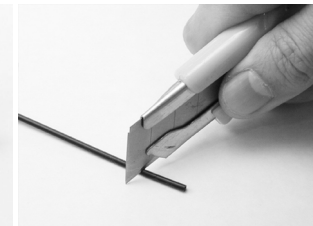
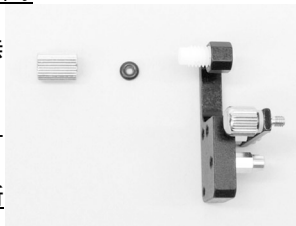
“L 型光 D ケーブル LL”のケーブル断端を、下図の方向から“スレーブ D 光ケーブルユニット”の穴に通し、“光 D ケーブル固定ダイヤル”を回し緩めます。“光 D ケーブル固定ダイヤル”の穴に“L 型光 D ケーブル LL”のケーブル断端を差し込み、奥まで達している事を確認後、“光 D ケーブル固定ダイヤル”を振じ込んで固定します。

“L 型光 D ケーブル LL”のケーブル側断端の取り付けが終了した後、コネクタ側をスレーブストロボの調光センサー部に取り付けます。



- メンテナンスについて :
- ・ ご使用後は、“L 型光 D ケーブル LL”、“スレーブ D コネクタ-ユニット 2”共に、ストレー/拡散板から取り外し、真水中 (30℃以下) に数時間静置して塩分等をよく取り除いた後、エアガン等で水滴を吹き飛ばし、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、乾燥させて下さい (完全乾燥には数日掛かります)。
 - ・ 特に“L 型光 D ケーブル LL”端の光ファイバー断面は、スレーブ“スレーブ D コネクタ-ユニット 2”から外した状態で丁寧に洗い、塩分を良く落して下さい。“L 型光 D ケーブル LL”の断面に傷が付いたり、塩分が残留して曇ってしまったりすると、信号がうまく伝わらなくなる場合があります。

- ・ 取り外した“スレーブ D コネクタ-ユニット 2”は、構成部品を無くさない様注意して下さい。



- ・ 上述の理由等で信号が伝わり難くなった場合や、ケーブルを短くして使用するには、必要に応じて光ファイバーを切る事が出来ます (L 型コネクタ側の光ファイバーを切断する場合は、弊社ホームページの『TOP>テクニカル>L 型光ケーブル分解組立』にて公開しております『L 型コネクタ仕様変更手順書』をご参照下さい)。

- ・ “L 型光 D ケーブル LL”の切断には、カミソリやカッターナイフ等、鋭利な刃物を使って下さい。切断の際、“L 型光 D ケーブル LL”の中心にある光ファイバーの切断面に凹凸が出来ると、光信号が伝わり難くなります。切断前の状態よりも断面の凹凸が酷くなった場合や、切断後に信号が伝わり難くなった場合は、切断作業をやり直して下さい。



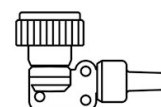
- ・ 「塩漬み」や「電蝕」による本製品とストレーとの固着を防ぐ為、右図の通り、ストレー側の取り付け部を定期的にグリaspアップして下さい。

- 使用上の注意 :
- ・ “L 型光 D ケーブル LL”は超耐久仕様 (最小曲げ半径 2mm) となっておりますが、それ以上曲げたり、強い刺激が加わったりすると、内部で折れる可能性があります。また、長時間曲げたままにすると形状が記憶されてしまします。正常に信号が伝わらなくなりましたら、オプションの「交換用光ファイバー-L 型光 D ケーブル LL 用」と交換して下さい。
 - ・ “L 型光 D ケーブル LL”をハウジングやストレーに接続した状態で、ケーブルを持ってそれらを持ち運ぶなどすると、光ファイバーが L 型コネクタから外れたり、ストレー/L 型コネクタ/光ファイバー等が破損する恐れがあります。このような扱いは避けて下さい。

- オプションについて :
- ・ 交換用光ファイバー-L 型光 D ケーブル LL 用 ¥4,700-(税抜)
製品内訳画像中の、①からストレー取付用のコネクタを除いた物です。

- ・ スレーブ D コネクタ-ユニット 2 (予備部品付) ¥5,200-(税抜)
製品内訳画像中の、②、③、及び④です。

- ・ ストレー側 L 型コネクタキット (ワイヤレス対応) [保守部品] ¥2,500-(税抜)
本製品から光ファイバーを除いた、コネクタユニットの交換キットです。



- ・ センサープラグ・ワイヤレス対応 [保守部品] ¥600-(税抜)
本製品に標準装備されている、ワイヤレス “対応” ストレー用のセンサープラグです。



- ・ センサープラグ・ワイヤレス非対応 [保守部品] ¥600-(税抜)
ワイヤレス “非対応” ストレー用のセンサープラグです。本製品を、ワイヤレス “非対応” ストレー (本書内「接続対応ストレー」の項参照) に使用する場合に、本製品のセンサープラグ・ワイヤレス対応と交換します。



有限会社 イノ

〒247-0061

神奈川県鎌倉市台 2-18-9

Tel. 0467-48-2174

Fax. 0467-48-2178

E-mail support@inon.co.jp

URL

http://www.inon.co.jp/